

令和2年度前期選抜の選抜・評価方法

学校番号2

千葉県立千葉女子高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

学習成績が優秀で、中学校生活全般にわたり特に積極的な取組を行った者。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者5名・評価者3名の集団面接 検査時間：1グループ15分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書 アの数値にイ・エについて加点（上限35点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年の皆勤について加点する。 各学年において20日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が2個以下の場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 特記事項	生徒会活動、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述について加点する。 部活動の部長及びそれと同等と認められる役職について加点する。 英語検定・数学検定・書写技能検定（硬筆・毛筆）等について、一定の基準を満たすものについて加点する。
オ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接〔30点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価し、各評価者の評価の組合せ（aaa～ccc）ごとに得点化する。

cを含む評価の組合せが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 服装・頭髪等身だしなみ	華美でなく、清潔感があり、凛とした印象を与えている。
イ 受け答えの様子	話し方が明瞭で、堂々とした受け答えである。
ウ 受け答えの内容	自らの言葉・考えを明快に語っている。高校生活に前向きな姿勢が見られる。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定（算式1）	加点	面接	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	35点	30点	$(700 + \alpha - m)$ 点

（算式1） α ：県が定める評定合計の標準値95

m ：中学校評定合計平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。

令和2年度前期選抜の選抜・評価方法

学校番号2

千葉県立千葉女子高等学校 全日制の課程 家政科

1 期待する生徒像

次のすべてを満たす者

ア 学習成績が優秀で、中学校生活全般にわたり特に積極的な取組を行った者。

イ 家政科を希望する動機が適切で、家庭科の授業に興味や関心がある者。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 適性検査	小学校・中学校で学習する被服に関する実技を伴う適性検査 検査時間：30分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書 アの数値にイ・エについて加点（上限35点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年の皆勤について加点する。 各学年において20日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が2個以下の場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 特記事項	生徒会活動、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述について加点する。 部活動の部長及びそれと同等と認められる役職について加点する。 英語検定・数学検定・書写技能検定（硬筆・毛筆）等について、一定の基準を満たすものについて加点する。
オ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

(3) 適性検査 [60点満点]

複数の評価者が、次の5つの評価項目について、各評価基準に基づき、作品を60点満点で評価する。

評価項目	評価基準
ア 布目	指示されたとおりの向きに布を使用している。
イ 折り方	指示されたとおりに布を折っている。
ウ 糸	指示されたとおりに糸を使用している。
エ 縫製	指示されたとおりに基礎縫いができている。
オ 完成度	優れた出来栄である。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（適性検査）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定（算式1）	加点	適性検査	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	35点	60点	$(730 + \alpha - m)$ 点

（算式1） α ：県が定める評定合計の標準値95

m ：中学校評定合計平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面接を行う。

令和2年度後期選抜の選抜・評価方法

学校番号2

千葉県立千葉女子高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3カ年皆勤については、総合的に判定する際の参考とする。 各学年において20日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数で評価する。○が2個以下の場合、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、 部活動の記録及び 特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については、総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

令和2年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。
--

4 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面接を行う。

*前期選抜で入学許可候補者に内定した者のうち入学確約書を提出した者の数が、募集定員を満たした学科については、後期選抜を実施しません。

令和2年度後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 2

千葉県立千葉女子高等学校 全日制の課程 家政科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3カ年皆勤については、総合的に判定する際の参考とする。 各学年において20日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数を評価する。○が2個以下の場合、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、 部活動の記録及び 特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については、総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

令和2年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。

4 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面接を行う。